

神戸市感染症発生動向調査週報

平成31年3月13日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 10週

平成31年3月4日

～

平成31年3月10日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	21	9	5	6	22	11	11	46	21	152		2	7	12	9	8	6	13	6	7	2	21	6	13	13	13	8	3	2	1

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～							
RSウイルス感染症	3		1			2	4	8	2	20	3	4	9	2	1	1															
咽頭結膜熱	6							2	2	10		1	2	1	2	1	1		1			1									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	6	3		9	3	15	8	12	60			2	3	7	5	11	12	7	3	3	6								1	
感染性胃腸炎	10	7	13	4	29	13	14	36	22	148	1	5	16	10	11	22	10	14	9	5	7	24	4							10	
水痘					3	1	1			5		1			1		2		1												
手足口病	1							1		2			1			1															
伝染性紅斑	5	2	1		3				1	12			1			3	1	4	1		1									1	
突発性発疹	2	1	1				2		1	7		1	4	2																	
ヘルパンギーナ								1		1		1																			
流行性耳下腺炎									1	1								1													

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～	
急性出血性結膜炎										0																				
流行性角結膜炎	2					2	1			5				1													2	2		

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ノロウイルス感染症1例:4歳 女
 ○ロタウイルス感染症2例:1歳 男、1歳女
 ○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:2歳 女
 中央区○ノロウイルス感染症1例:1歳 男
 北 区○アデノウイルス感染症1例:2歳 男
 ○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:1歳 男
 垂水区○ノロウイルス感染症1例:0歳9か月 女
 ○ロタウイルス感染症1例:2歳 男

【全国の感染症の状況】

○インフルエンザ

市内のインフルエンザの定点あたりの患者数は3.2人と減少しています(先週:4.6人)。定点医療機関からの迅速キット陽性情報はインフルエンザB型の割合が増加傾向です。例年、インフルエンザB型は2月下旬頃から春先にかけて患者が増加します。

(インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報)

A 型	B 型	A型およびB型
111	20	0

○風しん

全国で風しん患者の患者発生の報告が続いています。

全国的では30代から50代の男性の割合が多く、この世代の男性においては、風しんの抗体価が低い方が2割程度存在することが報告されています。平成31年4月から昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象とした風しんの抗体検査および予防接種が始まります。詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

[風しんの発生状況 国立感染症研究所HP](#)

[風しん予防接種の助成について 神戸市HP](#)

[風しんの追加的対策について 厚労省HP](#)

関西を中心に麻しん患者の発生報告が続いています。なお、神戸市では、2月25日に診断された患者以降、新たな患者の発生はありません。麻しんに感染すると、約10～12日の潜伏期間の後、発熱、発疹等の症状が現れます。また、感染力が強く、空気感染するため、手洗いやマスクでの予防ができません。麻しん患者と接触した可能性があり、接触後に麻しんを疑う症状が出現した際には、医療機関に事前連絡の上、公共交通機関の利用をなるべく避けて受診しましょう。また、海外でも麻しんが発生している地域があり、海外渡航時に感染する事例も報告されています。渡航前に渡航先の流行状況を確認しましょう。

[麻しんについて 神戸市](#)

[海外の感染症情報\(麻しん\)](#)

【お知らせ】バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [\[検索\]](#)

[「IL」情報センター | ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)